

東京スター銀行
エイチ・エス債権回収株式会社向け
シンジケーション方式コミットメント期間付タームローン組成について
～ 当行がアレンジャー兼エージェントを務め、5金融機関が参加～

株式会社東京スター銀行（東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治）は、このたび、エイチ・エス債権回収株式会社（東京都港区、代表取締役社長 八木 厚樹、以下「エイチ・エス債権回収社」）に対して、当行ならびに 5 金融機関の参加により、総額 10.5 億円のシンジケーション方式コミットメント期間付タームローンを組成しましたのでお知らせいたします。

エイチ・エス債権回収社は、金融機関等の債権者から買い取った貸付債権、リース債権、クレジット債権等の回収業を主軸に、債権管理回収の指導等のコンサルティング業、滞納家賃・医療費等の集金代行業等を行っています。最近は、景気回復にともなう企業倒産の減少等により、市場に出回る債権数・債権額は減少基調ですが、同社は安定的に債権の買い取りができており、2006 年の創業以来、業容の拡大を続けています。

今般、当行は、エイチ・エス債権回収社の 2017 年度下期の債権買い取り資金ニーズと取引金融機関を増やしたいというニーズに対し、コミットメント期間付タームローンの貸付形態で、同社と取り引きの無い新規金融機関 5 行を招聘し、シンジケートローンの組成を行いました。これにより、同社は債権買い取り計画に合わせて安定的・機動的に対応できる資金調達枠の確保および取引金融機関を増やすことができ、さらには、5 金融機関は同社にとって新たな債権仕入先候補ともなるため、本件は、財務面および営業面の両面において同社の今後の安定的な業容拡大に資するものとなります。

当行は、不動産/LBO/再生ファイナンスやプロジェクトファイナンスなど高度な専門知識やノウハウが必要とされる分野で長年にわたり実績を積み上げてきました。現在は、そうした専門知識やノウハウ等を地域金融機関などと共有し、協働しながらシンジケートローンの組成を積極的に推進しており、トムソン・ロイター・マーケッツ株式会社が毎年公表している国内シンジケートローンにおけるブックランナーランキングでは、昨年、地域金融機関の中では 2 位となりました。

当行は、今後もシンジケートローンを積極的に活用し、全国の地域金融機関と連携しながら、お客さまのビジネスや事業ステージに応じた最適なファイナンス提供を通じた成長支援を行ってまいります。

(ご参考) 9月26日時点の各社概要

【エイチ・エス債権回収株式会社の概要】

創業: 2006年11月
代表者: 代表取締役社長 八木 厚樹
本社: 東京都港区西新橋3-2-1 Daiwa 西新橋ビル9階
資本金: 5億円(澤田ホールディングス株式会社 100%出資)
事業内容: 債権管理回収業
ホームページ: <http://www.hs-servicer.co.jp/>

【株式会社東京スター銀行の概要】

創業: 2001年6月
代表者: 代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治
本社: 東京都港区赤坂二丁目3番5号
資本金: 260億円
ホームページ: <http://www.tokyostarbank.co.jp/>
